

現状

本県のキャリア教育の取組

○小学校におけるキャリア教育

- 各学校における活動例
- ・町探検(2年生活)
 - ・お店調べや職業調べ(3年社会)
 - ・消防署、警察署見学(4年社会)
 - ・工場見学、職場見学(5年社会)
 - ・テレビ局や新聞社見学(5年社会)
 - ・ボランティア活動(6年総合)
 - ・保育体験、福祉体験(6年総合)
 - ・祭りへの参加や地域清掃(学校行事)
 - ・あいさつ(道徳科)
 - ・運動会等、地域行事への参加
 - ・自治会や公民館の活動

○中学校におけるキャリア教育

- 各学校における活動例
- ・夢をもとう(1年学活)
 - ・職業調べ(1年学活)
 - ・働くことの意義(1年学活)
 - ・働く人に学ぶ会(特活・総合)
 - ・企業見学(特別・総合)
 - ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」(2年総合)
 - ・高校調べ(2年学活)
 - ・高校見学(3年)
 - ・オープンハイスクール(3年)
 - ・高校説明会(3年)

県内全公立中学校2年生が、連続5日間の職場体験や福祉・ボランティア活動等を実施
(H30参加校:80校、生徒数:8,937名
受入事業所数:3,132か所)

小中学校学習指導要領の改訂(H29.3)のポイント

キャリア教育の充実

- ・特別活動を要として教育活動全体を通じて実施
- ・将来の夢と学業を結び付けることによる児童生徒の学習意欲の喚起
- ・児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等(キャリア・パスポート)の活用

元気とやま創造計画

＜未来とやま＞

未来9 子どもの可能性を伸ばす教育の推進

社会的・職業的基盤となる能力や態度の育成に向けたキャリア教育の充実

課題

キャリア教育についての受け止めや実践内容・水準のばらつき

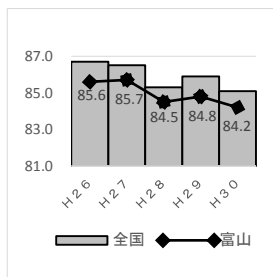
・特定の体験活動をキャリア教育と認識

・キャリア教育は、教科等の学習指導等、全教育活動を通じて実践される教育活動であることの認識の差

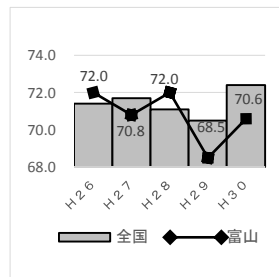
夢や目標を持つ子供の割合が全国平均よりも低い

全国学力・学習状況調査

将来の夢や目標を持っている児童生徒
＜小学校＞



＜中学校＞



キャリア教育の充実は児童生徒に人生の目的を与える

富山県における人生100年時代ひとつづくり構想会議(観点1)より

・小学校段階からの発達の段階に応じたキャリア教育が必要

・教員のキャリア教育への理解を高めることが必要

対応

小中学校のキャリア・パスポートの例示資料及び指導用資料の作成・配布

キャリア・パスポートの目的

「キャリア・パスポート」例示資料等について(H31.3.29)

小学校から高等学校を通じて、
〈児童生徒にとって〉

自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐもの。

〈教師にとって〉

キャリア・パスポートの記述をもとに対話的にかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの。

キャリア教育資料作成委員会の設立

・検討委員11名

(富山県小学校長会研究部長、富山県中学校長会キャリア教育・進路指導部長、富山県小・中学校教育研究会特別活動部会長、東西教育事務所指導主事)

・作成委員会4回実施予定
(6月21日第1回作成委員会実施済み)

キャリア・パスポートの作成方針

- 学年、校種を越えて持ち上げることができるもの
 - ・小学校入学から高等学校卒業までの記録を蓄積
 - ・各シートはA4判(両面使用可)に統一し、各学年での蓄積は5枚以内
- 引き継ぎ指導に活用することができるもの
 - ・卒業、進学の節目においては、児童生徒の振り返り等に対して、担任からのメッセージの記入欄を設けることで、児童生徒と対話の機会を創出
- 富山を心のふるさととして実感できるもの
 - ・地域活動への参加を記録・累積する地域活動がらばりシートを設定

各学校において、キャリア・パスポートの目的を考慮した上で、従来から使用しているシートの活用を図るとともに、国、県の例示資料をカスタマイズする。